

# 1 章 調査概要

## 1. 調査の目的

新型コロナウイルスの感染拡大による市民生活への影響や意識・行動の変化を把握し、今後の市政に反映させることを目的とします。

## 2. 調査の設計

- (1) 調査地域 銚子市全域
- (2) 調査対象 銚子市内に居住する満18歳以上の男女
- (3) 標本数 2,500名
- (4) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収またはオンライン回答による回収
- (6) 調査期間 令和3年6月22日(火)～令和3年7月12日(月)
- (7) 調査実施主体 銚子市企画財政課企画室

## 3. 調査の内容

- (1) 回答者の属性について
- (2) 新型コロナウイルス感染予防について
- (3) 新型コロナウイルス感染症による生活への影響について
- (4) 交通手段について
- (5) 市の感染症対策について
- (6) デジタル化について
- (7) 市の情報発信について
- (8) 居住意向について

## 4. 回収結果

標本数	有効回収数	有効回収率
2,500	1,580	63.2%

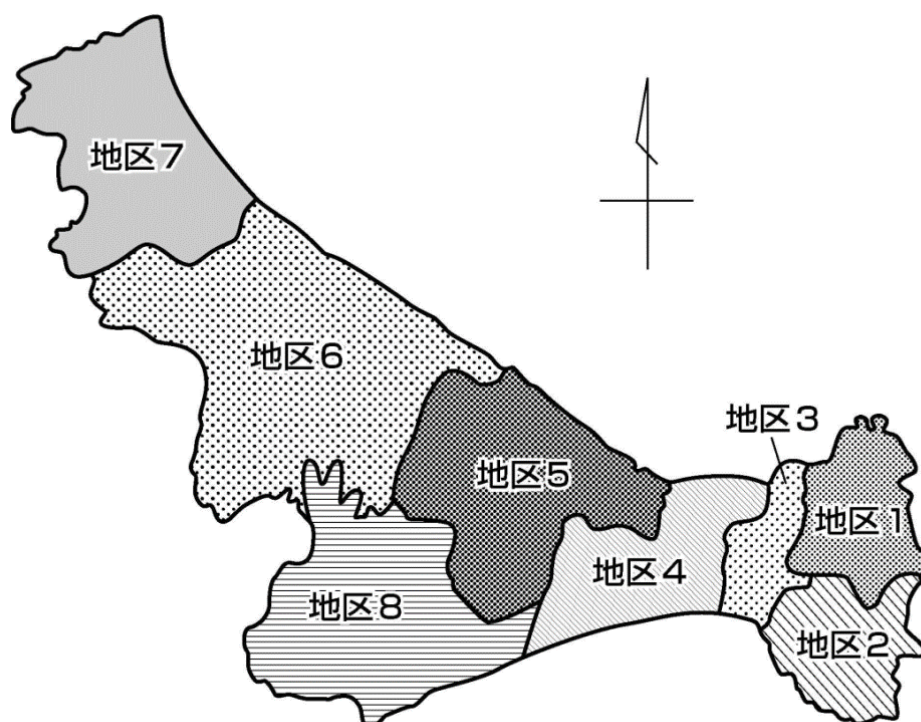
### (1) 回答方法別回収結果

区分	有効回収数	割合
郵送回答	1,209	76.5%
オンライン回答	371	23.5%

## 5. 地域区分

区分	地域
地区1	愛宕・清水・幸・港・仲・本・橋本・通・榊・海鹿島・弥生・植松 川口・笠上・黒生・明神・小畑新
地区2	高神東・高神西・小畑・犬若・犬吠埼・長崎・外川・外川台 君ヶ浜・潮見・天王台
地区3	陣屋・南・馬場・前宿・飯沼・浜・東・後飯・和田・田中・新地 竹・内浜・東小川・西小川・南小川・北小川・粟島・高神原・名洗
地区4	新生・中央・双葉・東芝・末広・妙見・台・西芝・栄・若宮・大橋 三軒・唐子・清川・八幡・春日・春日台・三崎・上野
地区5	松本・本城・長塚・今宮・松岸・松岸見晴台・垣根・垣根見晴台 四日市場・四日市場台・余山・柴崎・三宅・高野・赤塚
地区6	高田・芦崎・岡野台・三門・中島・正明寺・船木・野尻・小船木 塚本・忍・長山・小長・猿田・白石・茶畑
地区7	富川・森戸・笹本・豊里台・桜井・諸持・宮原
地区8	八木・小浜・親田・常世田・新

地域区分図



## 6. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100%にならない場合があります。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると100%にならない場合があります。
- (3) 質問の回答者数は(計:○)のように表記しました。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (5) 分析軸に使用した属性項目は、未回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と異なる場合があります。

## 7. 標本誤差

標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、次式により算出されます。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

( N = 母集団数 (銚子市の18歳以上人口)  
n = 比率算出の基数 (回答者数)  
p = 回答の比率 (%) )

今回の調査結果の標本誤差は下記のようになります。

例えば、回答者数が1,580人の設問である選択肢を選んだ人が20%であった場合、その回答に対する誤差範囲は±2.0%以内となります。

回答比率	標本誤差
10%または90%	±1.5%
20%または80%	±2.0%
30%または70%	±2.3%
40%または60%	±2.4%
50%	±2.5%

※ 上表は  $\frac{N-n}{N-1} = 1$  として算出しています。なお、この表の計算式の信頼度は95%です。